

## 協会による復興支援事業

# 2011年11月3日、宮城県南三陸町、志津川小学校の子供達へ マドレーヌ500人分をプレゼントしました！

2011年6月10日、18日の支援物資輸送に引き続き2回目の支援活動を実施しました。

11月3日宮城県南三陸町 志津川小学校の学校行事に合わせ、都内5ホテルに依頼し焼いていただいたマドレーヌをお届けしました。1袋6個のマドレーヌにはエスコフィエ協会のシールが貼られて志津川小学校に運ばれ、当日現地へ赴いた協会副会長、理事及び会員が子供たちに直接手渡しました。

協力： 帝国ホテル東京、 ホテルオークラ東京、 ホテルニューオータニ、 グランドプリンスホテル高輪、 セルリアンタワー東急ホテル

### 東北の冬を強く乗り切ってほしい、願いを込めて運んだマドレーヌ

今日11月3日(木)早朝に仙台を出発し一路、南三陸町志津川小学校を目指し順調に車を進めました。高速道路を降り山あいの道から急に視界がひろがり志津川の海が見え始めると山裾の木々が茶色に変色し、辛うじて原形を保っている車が放置され、三陸鉄道のレールが枕木ごとぐんにやりと曲がったままになっている、そのような風景を見ながらの南三陸町入りでした。テレビや誌面で見ている風景ですが、現実の姿にあらためて津浪の破壊力の凄まじさと恐怖を感じさせられます。ビルの屋上にまだ車が置いているのを見ながら小学校に到着しました。当日、小学校では演劇鑑賞があり観劇終了後、多勢の生徒さんが私たち日本エスコフィエ協会メンバーを待っていました。生徒さんの代表3名の方々に大庭筆頭副会長より持参したマドレーヌを手渡し、元気な声のお礼をいただきました。短い時間でのセレモニーでしたが、家に持ち帰ってから楽しんで食べてくれたらいい

などメンバー一同願いました。

その後、加藤校長と山内教頭より御礼のお言葉をいただき、震災当日のお話をお聞きしました。高台に位置する小学校(中学校、高校も高台)に当日2,000名の方々が避難してきたことや一切の蓄えがない中、翌日の卒業式に用意した紅白の幕や教室のカーテン等をずぶぬれになって避難してきた方々に使っていただいたこと、早めにスクールバスで帰宅した生徒さんを地域のお年寄りが高台に避難させ無事だったこと、残念なことは一年生の男子が父親と一緒に犠牲になってしまったこと。とても言葉では表現できない厳しい日々の連続だったろうと思いました。東北はこれから冬を迎え厳しい寒さを乗り切っていくかねばなりません。会員の皆様にも継続した支援活動をぜひお願いいたします。ありがとうございました。

仙台国際ホテル 取締役総料理長 中村 善二(協会理事)



志津川小学校児童と  
その家族から届いたお礼状

子供達に届けられたマドレーヌ



前列右から 大庭筆頭副会長、加藤校長、堀田副会長、後列右から ホテルメトロポリタン仙台 渡邊副総料理長、仙台コミュニケーションアート専門学校 石川氏、山内教頭先生、南三陸町保健福祉課 佐々木氏、仙台国際ホテル 中村取締役総料理長、宮城調理製菓専門学校 千石総料理長、KKRホテル仙台 鹿野総料理長、仙台国際ホテル菅井宴会料理長



体育館に集まった児童たち



生徒さんの代表3名の方々に、持参したマドレーヌを手渡す大庭筆頭副会長



志津川小学校の校舎前にて